

特集

市内各地では、夏祭りや花火大会、夏の伝統行事など、地域の特色を活かしたイベントが開催され、人々の心に夏の思い出を残しました。

2022 松浦の夏 Memories



疫神社夏祭り今福花火大会

(7月28日、今福)

この夏祭りは、松浦商工会議所今福支部青年部が地域を元気付けようと平成12年から毎年7月の最終土曜日に開催しています。夕方からのステージプログラムでは、市内の一芸自慢が技を競う「今福P-1グランプリ」が行われ、会場を大いに盛り上げました。

ほかにも、和太鼓の競演に平戸神楽の奉納、よさこい踊りやラムネの早飲みなどが行われ、祭りの最後には、今福港に約1,200発の花火が打ち上げられました。



ふくしま夏祭り (8月14日、福島)

地元の夏の風物詩として、昔から住民に親しまれているふくしま夏祭り（夏祭りがんばろう会主催）が福島港ふれあい広場で開催されました。

祭りでは、民謡や和太鼓、日本舞踊やよさこい踊りなどが披露されたほか、会場を訪れた地元住民や帰省客などが会場中央に大きな輪となり、みんなで盆踊りを行うなど、会場内はにぎやかなお祭りムードに包まれました。



志佐町納涼花火大会 (8月15日、志佐)

志佐町で毎年恒例の納涼花火大会(志佐商工振興会主催)が志佐川河口で行われました。

この日は、夕方から松浦商工会議所前で大抽選会が行われた後、わらや竹で作られ、金紙・銀紙や灯ろうなどで飾られた多くの精霊船が、松浦太鼓の先導で松浦駅前から志佐川河口までを練り歩きました。精霊船が志佐川に浮かべられると、約1300発の花火が打ち上げられ、志佐町の夜空を美しく飾りました。



道の駅鷹ら島納涼夏まつり

(8月19日、鷹島)

市の観光名所の1つである鷹島肥前大橋をバックに道の駅鷹ら島で納涼夏祭りが行われました。

この夏祭りは、これまで続けてきた花火大会に代わる今年の鷹島の夏イベントとして、地元を盛り上げ、鷹島の魅力を発信しようと開催されました。

この日は、島内外からたくさんの方が訪れる中、会場内の特設ステージでは、ダンスや歌謡ショー、カラオケ大会などが行われ、祭りの最後には、約400発の花火が夜空を彩りました。

